



2014年6月17日

アオバジャパン・インターナショナルスクール

報道関係各位

アオバジャパン・インターナショナルスクール ミドルスクール課程 国際バカロレア 中等教育プログラム(MYP)候補校に認定

アオバジャパン・インターナショナルスクール(所在地:東京都練馬区、以下 A-JIS)は、2014年9月1日をもって、国際バカロレア機構(IBO)より国際バカロレア 中等教育プログラム(MYP)の候補校に認定されることが決定いたしましたのでお知らせいたします。なお、今回の認定をもって、A-JIS は国際バカロレアの初等教育プログラム(PYP)、中等教育プログラム(MYP)、ディプロマプログラム(DP)全ての候補校となりました。

国際的な大学受験資格として広く知られるようになっている国際バカロレアとは、スイスを本部とする国際バカロレア機構(IBO)が、インターナショナルスクールの卒業生に国際的に認められる大学入学資格を与えるために発足した教育プログラムです。3歳~19歳までの学生を対象とし、年齢に応じた3つのプログラムで構成、急速にグローバル化が進む現代社会で求められている主体性や自ら考える力を身に着けられるように設計されています。

A-JIS では、これら3つすべての国際バカロレアプログラムの導入を目指し、カリキュラムの見直しなどを積極的に行っております。プログラム導入により、卒業生は国際的に通用する大学受験資格を獲得できるだけでなく、より広い視野で物事をとらえ、自ら主体的に考えて状況を切り拓いていく力を身に着けることもできます。また、グローバルな視点を養うことで、表現力やコミュニケーション能力などを高める効果も期待されます。

A-JIS は、国際バカロレアプログラムの導入を目指すことによって、グローバル人材教育を柱とした大学・大学院を運営する親会社ビジネス・ブレイクスルー(以下、BBT)と共に、未来のグローバルリーダーの育成に向けて今後も尽力していく所存です。国際的に認められたプログラムに基づいた世界標準レベルの教育を提供することで、本校卒業生が日本だけでなく世界中の大学という選択肢の中から自分の個性や可能性を最大限に生かすことのできる進路を選択できるようサポートしたいと考えています。また、一歳半から高校まで¹の一貫教育を通じて、21世紀の世界社会において豊かで充実した人生を自らの手でつかみとることのできる、自立した人材の育成に邁進して参ります。

◆国際バカロレア機構(IBO)について *文部科学省HPより抜粋

インターナショナルスクールの卒業生に、国際的に認められる大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保するとともに、学生の柔軟な知性の育成と、国際理解教育の促進に資することを目的として1968年に国際バカロレア機構が発足されました。国際バカロレア機構は、スイスのジュネーブに本部を置き、認定校に対する共通カリキュラムの作成や国際バカロレア試験の実施及び国際バカロレア資格の授与などを行っています。

¹ A-JISは、幼稚園課程のみ(1.5歳~5歳)の目黒キャンパスと、幼稚園課程からハイスクールまで(3歳~18歳)の光ヶ丘キャンパスの2つのキャンパスで構成されています。PYP 候補校に認定されているのは光ヶ丘キャンパスのみです。

国際バカロレアには、3歳～19歳の子どもの年齢に応じて3つのプログラムがあります。

- (1) PYP (Primary Years Programme: 初等教育プログラム) 3歳～12歳
- (2) MYP (Middle Years Programme: 中等教育プログラム) 11歳～16歳
- (3) DP (Diploma Programme: ディプロマ資格プログラム) 16歳～19歳

DPの課程を修了し、ディプロマ資格取得のための統一試験に合格することで、国際バカロレア資格を取得することができます。国際バカロレア資格は、国際的に認められている大学入学資格の1つであり、日本においても昭和54年に「スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達したもの」について、大学入学に関し高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者として指定されています。

また、本年、政府の「教育再生実行会議」においても、グローバル人材育成の環境整備のため、国際バカロレア認定校について、5年以内に現在の16校から200校へと大幅に増加を図る旨の提言がなされています。
<http://www.ibo.org/>

【アオバジャパン・インターナショナルスクールについて】



株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役:大前研一、以下BBT)の子会社であるアオバインターナショナルエデュケーションシステムズ(本店:東京都練馬区)が運営する歴史あるインターナショナルスクール。1976年に目黒区青葉台での開校。幼児から12年生(高校3年生)までを対象とした、特定の宗教を持たない共学のインターナショナルスクール。日本語クラス以外の授業はすべて英語で行われ、英語圏の英語教材を使用。英語の苦手な生徒をサポートする非常に効果的なプログラムも用意され、質の高い教育を提供している。幼稚園から高校までの全ての課程において北米および国際水準のカリキュラムを提供、卒業生は世界中の大学への出願資格が得られる。さらに、A-JISはCIS(カウンシル オブ インターナショナル スクールズ)およびNEASC(ニューイングランド アソシエーション オブ スクールズ アンド カレッジズ)の認証も受けているほか、初等部と高等部は国際バカロレア(PYPプログラム、DPプログラム)認定の候補校となっている。 <http://www.aobajapan.jp/>

アオバジャパン・インターナショナルスクールは、国際バカロレア(IB)「初等教育プログラム」(PYP)、「中等教育プログラム」(MYP)、「ディプロマプログラム」(DP)の候補校(※)です。本校はIBワールドスクール(IB認定校)としての認定に向けた申請段階にあります。このIBワールドスクールとは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組むことにコミットする」という理念を共有する学校です。アオバジャパン・インターナショナルスクールも、このような教育に取り組むことが、生徒にとって重要なことであると信じています。

※IBの「初等教育プログラム」(PYP)、「中等教育プログラム」(MYP)、「ディプロマプログラム」(DP)の3つのプログラム(および「IBキャリア関連サーティフィケート」)を実施することができるのは、国際バカロレア機構に認定された学校のみです。候補校であることは、IBワールドスクールとして認定されることを保障するものではありません。IBおよびIBのプログラムの詳細については、ウェブサイト(<http://www.ibo.org/>)をご覧ください。

【BBTについて】



世界に通用するビジネスパーソンの育成を目的として1998年に設立した教育コンテンツプロバイダー。マネジメント教育事業を主軸とし、世界的経営コンサルタントである大前研一の知識や経験に基づいた最先端のコンテンツを主にオンデマンドで提供。「Life Time Empowerment」をコンセプトとしている弊社は2013年10月からアオバジャパン・インターナショナルスクールの経営にも参加。幼少期から成人まで、人の成長に応じた教育のパートナーであり続けるために幼児から定年後まで、生涯の学習をサポートするためのプラットフォームを形成、世界に通用するグローバル人材の育成を戦略的にサポートしている。輩出人数はのべ約5万人。 <http://www.bbt757.com/>

2013年10月にBBTがアオバインターナショナルエデュケーションシステムズを子会社化。これにより、BBTは幼稚園～高校生の教育にも乗り出すこととなり、幼稚園から大学・大学院、経営者対象のビジネス教育まで、一人の人の一生にわたる教育コンテンツを提供する教育組織となりました。

【本件に関するお問い合わせ先】

アオバジャパン・インターナショナルスクール PR担当 袴田(はかまだ)

TEL:03-6904-3102 FAX:03-5997-0091